

## 第 18 回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 議事要旨(案)

1. 日時 平成 23 年 2 月 24 日(木) 10:00 ~ 12:00

2. 場所 主婦会館 プラザエフ 7F「カトレア」

3. 議題

- (1) 平成 21 年度排出量の推計結果について
- (2) 民生品からの VOC 排出量の扱いについて
- (3) アルコール系工業用洗浄剤の使用に係る VOC 排出量推計方法について
- (4) VOC 排出量と経済指標の関連性の分析について
- (5) 法令取扱分類別排出量の推計結果について
- (6) その他

4. 出席者

委員: 浦野委員長、泉委員、指宿委員、桐明委員、久米委員、柴田委員、前野委員、山口委員、油井委員、田代氏(黒田委員の代理)

オブザーバー: 伊藤氏(日本クリーニング環境保全センター)

環境省: 山本大気環境課長、山田大気環境課長補佐

事務局: 株式会社環境計画研究所

5. 議事内容

事務局より、「平第 17 回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 議事要旨」について説明があり、前回の検討結果の確認と、今回議論すべき内容の説明が行われた。

事務局より、「VOC 排出量推計の暫定結果」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ VOC 排出インベントリ推計結果は公開されるものであることから、見かけ上、極端に増えているような発生源品目等については、その理由をコメントとして付しておく。

事務局より、「民生品からの VOC 排出量の扱いについて(案)」等について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 当面は、東京都調査の方式で推計し、東京都調査の考え方に比べて、出荷量・組成、その他大きな変化があった場合、推計をしなおす。
- ・ 民営品からの VOC 排出量について、今年度は、十分な注意書きをしたうえで参考値として扱い、今後の検討会において、推計方法・取扱の双方を見直しながら進めていく。

事務局より、「アルコール系工業用洗浄剤の使用に係る VOC 排出量推計方法(案)」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 推計方法としては、事務局提案の方法を用いる。
- ・ 工業用洗浄剤としてのイソプロピルアルコールの出荷量は平成 19 年度から平成 20 年度にかけて大

大きく変動しており、その要因を確認する必要がある。また、本調査におけるアンケートで把握している出荷量と、既存調査における出荷量に大きな差異があり、その理由についても確認すべきである。

事務局より、「VOC 排出量と経済指標の関連性の分析について(案)」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 本資料において「環境技術の進歩」としているものは、進歩というよりも、「普及」または「進展」という用語とすることが適当である。
- ・ 解析に用いた国民計画経済における部門が、必ずしもこのような解析に適当な範囲となっていないため、妥当な解析結果となっていないケースがあり、そのような分野を明らかにしておくべきである。
- ・ 本件等は、大雑把な試算であり、タイトルを「解析例」等とすべきである。
- ・ VOC 排出インベントリ全体を通して、VOC 排出量の大きな変動の理由づけの再確認を行うべきである。

事務局より、「法令取扱分類別排出量の推計結果」について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ アンケート結果からの拡大推計により、法令取扱分類別排出量を出すには無理があり、また、アンケート結果は、規制対象施設のうちでも、対策が特に進んだ「優等生」的な施設であると考えられるが、今後、他のデータやさまざまな仮定とあわせて法令取扱分類別排出量を把握することに活かしていく。

< 配付資料 >

第 18 回 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 座席表

資料 1 第 17 回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 議事要旨

資料 2 VOC 排出量推計の暫定結果

資料 3 民生品からの VOC 排出量の扱いについて(案)

資料 3-1 香料工業会ヒアリング結果

資料 3-2 民生品の使用による VOC 排出量の取扱と推計方法(案)

資料 4 アルコール系工業用洗浄剤の使用に係る VOC 排出量推計方法(案)

資料 5 VOC 排出量と経済指標の関連性の分析について(案)

参考資料 法令取扱分類別排出量の推計結果

以上